



アマゾン河口マラカ川流域の村。人々は主に木材やヤシ科アサイーの収穫で生計を立て、森と川の恵みに頼るシンプルな暮らしだ。川岸に近い森では商業的価値のある大木は大半が伐採され、植林が必要とされている

「ブラジル」

アマゾンの 里山づくり

文写真 永武ひかる

世界最大の熱帯林が広がるアマゾン。貴重な森が急速に失われていく中で、森をつくり守るといふ「アグロフォレストリー」が試みられている。多様な生態系を生かし、人々が自然とともに暮らす里山づくりのような熱帯農林業だ。ブラジルに移住した日本人や日系人が培った知識・技術が、奥地に広がりを見せていると聞いて現地を訪ねた。

サンパウロから飛行機を乗り継いで7時間、アマゾン河口の町マカバに飛び、さらにモーターボートで大河とマラカ川支流をさかのぼる。森をくりぬいたような空間にはいろいろな植物が育っていた。バナナ、カカオ、

アサイー、クアアスなどの熱帯果樹、スイカ、トウモロコシ、コシヨウ、それに建材や薬用になる木々。植えられてから2年がたつアグロフォレストリーの畑だ。アマゾンの雨期には川の水が増して氾濫する。その肥沃な氾濫原を利用して作られた。多様性を保ち、農薬や化学肥料を使わず、作物を生産しながら樹木を育てるプロジェクトの一環だ。

アグロフォレストリーは先住民などが伝統的に行っていたが、植物を混植したり植林や養殖を組み合わせたたりして、時代に見合う持続可能な土地利用として期待されている。ブラジルでは日本人移住地として



アマゾン河口の都市ベレンのアサイー市場。夜明け前から、大量のアサイーと人が行き交う



アマゾン原産の植物アサイー。栄養価が高く、世界的に需要が増え、自然林や混生林などの管理が求められている

日本人移住地のパラ州トメアスーはアグロフォレストリーの先駆的な地域。その“バイオニア”である故・坂口のぼる陸さんの森の畑の入口。奥には原生林が残されている

知られるパラ州トメアスーの試みが先駆的で、この畑でもトメアスーの専門家の高松寿彦さんが苗を植えて村人に指導、氾濫原の豊かさを絶賛している。飛行機を乗り継いでアマゾン州奥地の町マニコレへ飛び、支流のマデイラ川を船で下る。この地方にもトメアスーから日系人の専門家が指導に訪れた。

川岸の村では畑を耕し魚を捕る自給自足に近い暮らしが営まれている。ここでアグロフォレストリーの計画を進めているのは、ジエニパップ村出身のジルソンさん。町の公務員の職を得たが、将来の展望が見えず、現在はNGOのスタッフとして働く。

村の前を流れるマデイラ川では砂金が取れる。金採掘歩合制の労働者でも当たれば相当な収入が得られるが、ジルソンさんが採掘より、森の畑に取り組むのは、2008年にトメアスーでアグロフォレストリーの研修を受けるチャンスに恵まれたからだろう。地域ではカカオやスイカが栽培され、油やゴムが取れる木、ビタミン豊富な果樹が自生する。

今世紀後半には、アマゾンの森の40%が消失するといわれている。グローバル経済の中で、日本人も無縁でない。今年、日本人がアマゾンに移住して80周年。森を切り開いた時代から森をつくり守る時代へ、里山を彷彿とさせるような森の畑が希望を生み出してくれることを願いたい。



JICAのマラカ川流域の森林資源持続的利用計画では、川岸の住民が持続的に森林資源を活用できるよう支援している。適切なチェーンソーの使い方や木の切り出し方の研修を受ける村人たち



マラカ川流域の試験的なアグロフォレストリーの畑を案内してくれたプロジェクトスタッフの日系2世エジムンド・ワタナベさん。畑は近くに住む村人が手入れをしている。肥沃な大地で木々が育ち、森の畑になるのが楽しみだ

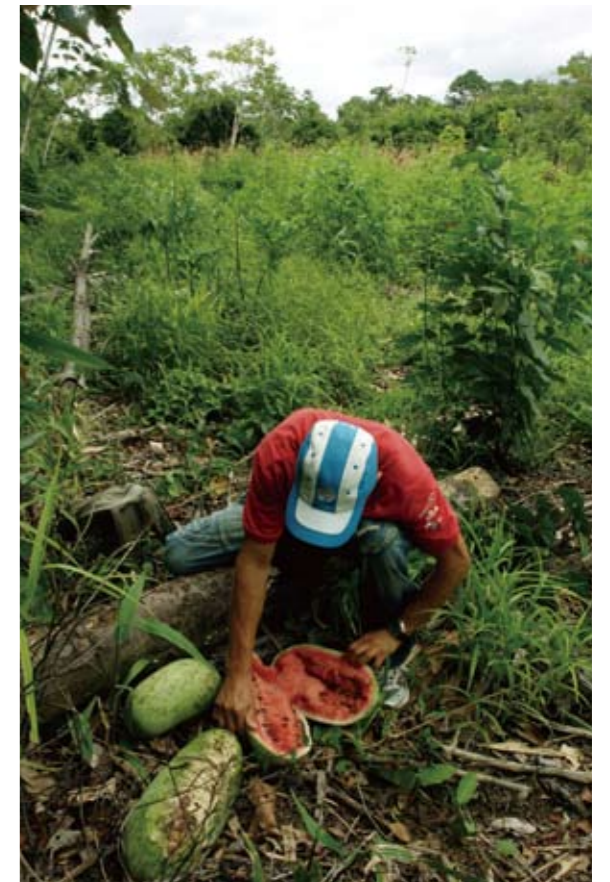


ココナツの実を抱える子どもたち。マデイラ川を臨むジェニバッポ村で



油が取れるアブラヤシ (左上)、果物のプルーニャ (右上) やジェニバッポ (右下)、野生の果実 (左下) など、村にはさまざまな実が自生している

氾濫原の畑では、農薬や肥料もなくスイカがたくさん取れる



森林の中の道路開発は環境への影響が懸念されている



マデイラ川流域では金が取れる。一獲千金を夢見て掘削する小屋が浮かぶ

村の農民とアグロフォレストリーの相談をするジルソンさん (右)。畑にはたくさんのカカオが植えられていた



環境保全、格差是正への 取り組みと、 日伯共同支援の推進を

豊かな資源に支えられ急成長を遂げたブラジル。しかし環境破壊や貧困問題も依然深刻だ。JICAは、これらの問題に取り組むと同時に、ほかの開発途上国に共同で支援するパートナーシップも推進している。



アグロフォレストリーの研修で、パラ州の原生林を視察した近隣諸国の農業研究員たち



サンパウロ州沿岸部で進められている下水道の配管工事

ブラジルといえば、今や世界を代表する新興大国の一つ。その一方で、アマゾンの熱帯雨林で森林破壊が進み、都市部では急激な人口増加により生活環境が悪化している。また、所得格差の問題も深刻だ。JICAは、環境問題、格差の是正への取り組みを支援するとともに、同国の医療や農業などの技術力を生かした「三角協力」※を、ブラジル政府と共同で推進している。

環境分野では、アマゾンの森林資源の持続的な活用のため、アグロフォレストリーの普及に取り組んでいる。2007年からはその経験を近隣諸国に広げるべく、各国の農業研究員らを招いて研修を実施。また、人口が急増し、未処理の汚水の垂れ流しなどで水

質が悪化しているサンパウロ州沿岸部では、9つの市で上下水道施設、水質管理システムの整備を円借款で行っている。

格差の是正に対しては、国内で最も貧しく、公衆衛生環境の悪化や疾病のまん延が深刻な東北部で、地域住民がより良い生活環境づくりに取り組む「東北ブラジル健康なまちづくりプロジェクト」を実施。住民参加による清掃活動や、一人一人が地域に何ができるかを考えるワークショップ、公衆衛生改善の推進員の育成などを通して、貧しい人々の健康増進と生活の質の向上に努めた。

三角協力では、ブラジルと同じポルトガル語圏の国であるアフリカのアンゴ

ラに、ブラジルから医師や看護師を派遣。医療技術の向上や病院運営の改善を図っている。07年には、かつて日本の無償資金協力で首都ルアンダに整備された病院に日系ブラジル人看護師も派遣した。

※ある分野に優れた技術や経験を持つ開発途上国が、先進国と共同で別の途上国を支援することで、開発をより効果的に進めるための協力。



アンゴラの病院で技術指導を行う日系人看護師・谷田リツコさん(右)



1908年、日本から最初の移民船「笠戸丸」が到着。以来、移住者・日系人はブラジル社会にさまざまな分野で貢献してきた。

世界最大の流域面積を持つアマゾン川。広大な熱帯雨林に覆われるが、伐採による森林の減少が深刻化している。

16世紀から200年以上首都として栄えたサルヴァドール。アフリカ文化の影響が強く残り、石畳の街の色彩が美しい歴史地区は1985年に世界遺産登録された。



首都：ブラジリア
面積：851万2,000km² (日本の22.5倍)
人口：約1億8,390万人 (2007年)
公用語：ポルトガル語
宗教：キリスト教徒約90%
1人当たり国民総所得 (GNI)：5,910ドル (07年)
経路：日本からの直行便はなく、アメリカ経由が一般的。
通貨：レアル (BRL) 1BRL=約41円 (09年2月現在)
気候：北部のアマゾン川流域は年間を通じて高温多雨の熱帯雨林気候。中部内陸部では雨期と乾期があり、大西洋沿岸は比較的温暖だ。南部の亜熱帯地域は寒暖の差が激しく、冬(5~7月)には零下になることも。



リオデジャネイロで毎年2~3月上旬に開催されるカーニバル。国内外から70万人以上が訪れる。

Brazil

ブラジル

Illustration/sugawara maiko



サッシペレレ

〒160-0003 東京都新宿区本塩町9 光丘四谷ビルB1
TEL: 03-3353-7521
URL: <http://www.saciperere.co.jp/>
月~木17~24時、金・土18~24時
(日曜・祝祭日定休)



味わいが好まれ、全土に広まった。ライスにフェイジョアータをかけ、「ファロップア」という粉末状のキャッサバをトッピングする。週末に親類や友人などを集めて行うパーティーの定番メニューでもある。本場のフェイジョアータを楽しめる東京のブラジル料理店サッシペレレは、ボサノバ歌手・小野リサさんの父親、小野敏郎さんが始めた店。名前は、本国で親しまれるいたずら好きの妖精に由来する。1958年にブラジルに渡り、サンパウロでライブハウスを営んでいた小野さんが、帰国後の72年に開店した。陽気なブラジル人シエラが作る料理やブラジルカクテルだけでなく、毎晩開催されるサンバやボサノバの生ライブも人気を呼んでいる。

ブラジル料理

黒豆と肉の煮込み料理

「フェイジョアータ」



広大な国土にさまざまな人種が混在するブラジルでは、地方によってその料理の特色も多種多様だ。先住民文化の影響が強く、イモ類や果物、川魚などを使った北部の料理、鉄串に刺さった肉の炭火焼「シユラスコ」が有名な南部の料理など、多くて9種類にも分けられるという。

その中で、「ブラジルの国民食」と呼ばれ人々からこよなく愛されているのが、黒豆と豚肉や牛肉を煮込んだ料理「フェイジョアータ」。かつてアフリカから連れて来られた奴隷たちが、農場主が捨てていた豚の耳や鼻、足などを黒豆と一緒には煮込み、栄養食として食べていたのが始まりとされる。そのボリュームと濃厚